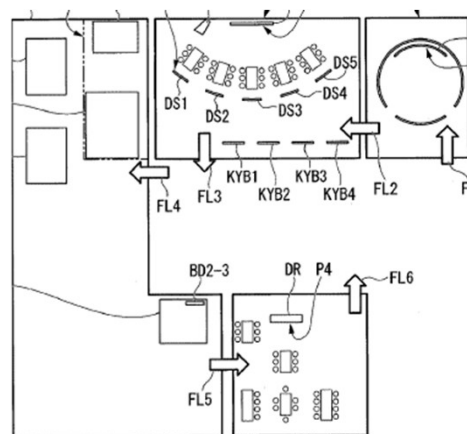


体感・体験・体得を統合した安全研修設備

災害を『知る』から災害を『体感する』へ（特許第7013671号）

■ 技術概要

- 導入→体感→体験→体得の4段階構成で研修を実施。
- 災害を自分事として認識させ、危険察知力と安全意識を向上。
- グループ討議と体験設備により学習効果を最大化。
- 振り返り学習で、危険回避行動を現場に定着させる。



■ 現場課題

- 座学だけでは記憶に残りにくい。
- 研修内容と現場との乖離がある。
- 危険を自分事として認識しにくい。

■ 解決手段（技術の特徴）

- 災害を自分事として認識
- グループ討議機能（小表示面で意見収集）
- 災害体験設備と連携（学びを実体験へ）
- 振り返り学習で行動定着

■ 想定適用先・市場

- 電力会社
- プラント事業者
- 製造業
- 建設会社

→インフラ企業や設備産業の安全研修市場

■ 活用イメージ

- 危険体感施設
- 体感研修環境
- 墜落体験設備
- 安全風土醸成

→ 体感を通した教育のツール

■ パートナー企業

- 安全教育事業者
- VR教育事業者
- 建設会社
- 研修施設運営会社

『体感→体験→体得』の連鎖により、危険回避行動を現場に定着させる安全研修設備。